

指定都市・中核市・特例市連携シンポジウムの開催について

住民に最も身近な基礎自治体であり、各圏域の中核都市である指定都市・中核市・特例市の市長の代表が一同に会し、都市が連携して地域主権改革を積極的に推進するためのシンポジウムを開催する。

1 テーマ 地域主権の確立に向けて～指定都市・中核市・特例市に求められる役割～

2 日時 平成24年10月19日（金）13：30～

3 場所 時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8時事通信ビル2階）

4 主催 指定都市市長会、中核市市長会、全国特例市市長会

5 後援 全国市長会、(株)時事通信社

6 対象 指定都市・中核市・特例市を中心とした行政関係者等

7 募集人数 300人程度

8 内容・構成

①基調講演

「地域主権で求められる都市のあり方」（仮題）

○講師：北川 正恭 氏（早稲田大学大学院教授）

②地域主権に向けた都市間連携の取組事例紹介

○講師：鈴木 康友 浜松市長

③パネルディスカッション

○パネリスト：指定都市市長（篠田 昭 新潟市長）、中核市市長（仲川 げん 奈良市長）、全国特例市市長（伊藤 太 春日井市長）、北川 正恭 氏

○モデレーター：上崎 正則 氏（時事通信社解説委員）

9 事前広報（iJAMP コラム連載）

シンポジウム開催までの間、この機運を醸成するために「市長が語る『地域主権と都市の役割』」と題し、指定都市・中核市・特例市の各市長によるコラムを、時事通信社「iJAMP」で8月1日（水）より連載する。